



からいもがもっと好きになる。

11月12日、「からいもフェスティバル in おおづ」が本田技研工業(株)熊本製作所の総合グラウンドで開催されました。町内外から約1万2,000人が参加しました。今年も町の秋を彩る祭りの魅力をお伝えします。

大きいのが
ほれたよ!



第33回

からいも フェスティバル

in おおづ

①からいもフェスティバル限定のパネルで記念撮影②大津町食生活改善推進員協議会による展示では本物の野菜を使って1日に必要な野菜の重量当てクイズを実施③肥後大津民芸造花保存会による梅の造花の体験会では枝に花びらを付ける体験ができました④会場の皆さんとからいもくん体操をして体をリフレッシュ⑤JA 菊池甘藷部会の紅はるか詰め放題。袋いっぱい詰め込みます⑥芋天やからいも汁など、からいものグルメを楽しみました。

この祭りでは、たくさんの人たちが「からいも」を中心につながりました。「大津」から「からいも」を次の世代に残すこと。それは町を愛する私たちの使命です。これからも続くからいもフェスティバルの歴史をみんなと一緒に掘って、知って、楽しみながらつなげていきましょう。

祭りと同時間催したJRウオーキングでは、肥後大津駅から会場まで歩いてきた人限定でノベルティーをプレゼント。また、肥後おおづ観光協会が「バイクのまち、大津町」をテーマにパネル展示やSNSフォローキャンペーンを実施。焼き芋が焼ける「からいもバイク」も展示されました。

また、からいもの魅力をもっと知ることが出来る「からいも館」が祭り限定で登場。中には、江戸時代のレシピを再現したからいも菓子の紹介や、大津高校の美術コースによる似顔絵コーナーと写真部による写真展示、大津町食生活改善推進員協議会のからいも汁の販売、肥後大津民芸造花保存会による梅の造花の展示と体験、郵便局の告白レター展示などのコーナーもありました。

恒例の「いも掘り大会」は、イベント会場南側のからいも畑で行われました。町内外からのお客さんがスコップや手袋を使って、いも掘りに夢中になっていました。

午 前10時。からいもフェスティバルが開会。今年で33回目。メインステージのオーブニングを飾ったのは、大津太鼓の演奏。大太鼓の音が会場を盛り上げます。メインステージでは、大津北中学校や大津高校の吹奏楽部による演奏やからいもくん体操、町内のダンスチームによるダンスなどさまざまな催しが行われ、来場者を楽しませました。



6



5



4



3



2



1